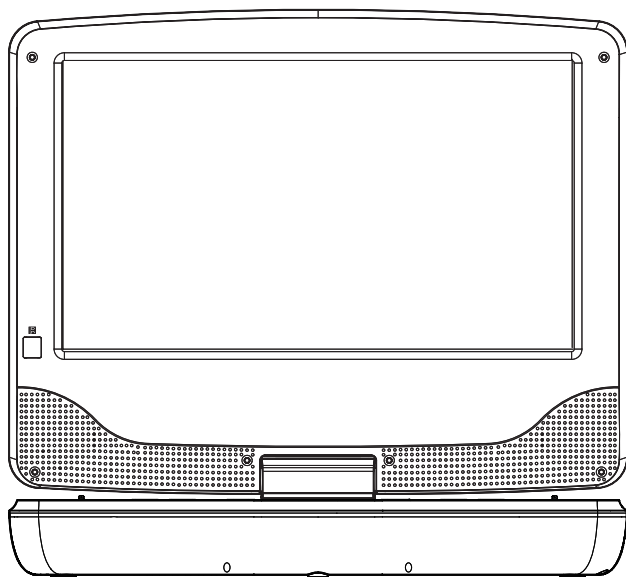

9
インチ

ポータブルブルーレイプレーヤー

TMB-L90(B)

取扱説明書(保証書付)



お買い上げいただきありがとうございました。

なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

本製品のお取り扱い上のご注意

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品のお取り扱いに関しましてご案内いたします。

正しくお使いいただくために下記の点に注意してください。

●機器をご使用になる前に

まず機器にACアダプターを接続してください。

機器の起動には、側面にある主電源スイッチをONにしてください。

※主電源スイッチがOFFになっていると、全ての操作を受け付けません。

●電源アダプター使用上のご注意

①シガー電源アダプターの必要以上の抜き差しはお控えください。またはシガー電源アダプター / ACアダプターの端子やコードを必要以上に動かしたり触ったりすることはお控えください。(故障や接触不良の原因となります。)

②付属のシガー電源アダプターはDC12V専用です。DC12V車のシガープラグへ直接接続してください。電圧変換器(DC-DCコンバーター等)を使用すると故障の原因になることがございます。

●各種メディアを再生する前に

市販のBD/DVD/CDディスク以外のレコーダーやパソコンなどで作成したデータの再生について、ご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐にわたるため、本書に記載された対応形式であっても再生できない場合もあります。デジタル放送を録画したCPRMディスクはVRモードのみ対応可能です。

CPRMディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。

●AV出力機能

本製品でDVDモードで再生しているものは外部へ出力することが可能です。

※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかったり故障の原因となることがあります。

目次

1 はじめに	4	9 設定の変更	30
安全上のご注意.....	4	セットアップの設定方法.....	30
ディスクの取り扱いについて.....	5	基本設定.....	30
ディスクについて.....	6	映像設定.....	32
著作権について.....	7	オーディオ設定.....	33
2 使用上のお願い	8	システムインフォメーション.....	33
本機の取り扱いについて.....	8	10 外部機器の接続	34
置き場所について.....	8	モニターとして使う.....	34
お手入れについて.....	8	イヤホンを使う.....	34
レーザー製品について.....	8	テレビと接続する.....	34
結露（露付き）について.....	9	11 CD リッピング機能	36
お車での使用について.....	9	12 ご注意	37
BD、DVD や CD および各種メディア再生 について.....	9	13 主な仕様	38
メモリーカードについて.....	10	14 故障かなと思ったら	39
3 ご使用の前に	11		
主な特徴.....	11		
セット内容.....	11		
4 本体各部の名称・機能	12		
本体各部の名称.....	12		
本体各部の機能.....	13		
5 リモコン各部の名称・機能	15		
リモコン各部の名称.....	15		
リモコン各部の機能.....	16		
6 リモコン・本体の準備および接続	18		
リモコンを準備する.....	18		
リモコンの操作.....	18		
電源を接続する.....	19		
充電する.....	20		
バッテリーを長くご使用いただくために	20		
LCD パネルを回転する.....	21		
本体収納ケースを使う.....	21		
7 再生する	22		
ディスクを再生する.....	22		
メディアを再生する.....	24		
基本的な操作.....	26		
8 便利な再生方法	28		
プログラム再生.....	28		
サーチ再生.....	28		
ブックマーク機能.....	28		
サブメニュー機能.....	29		
BD-Live 機能.....	29		

1 はじめに

安全上のご注意

※ ご使用前に「安全上のご注意」と「取扱説明書の内容」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂きお使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

● アイコンの表示例


⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が書かれています。


 左図の場合は「分解禁止」を表しています。


● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示をする内容が書かれています。


 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」を表しています。


警告


 **本体内部に水や異物を入れない**
火災や感電、故障の原因になります。
濡れ禁止


 **浴室、シャワー室など湿気がある場所では使用しない**
火災や感電、故障の原因になります。
浴室使用禁止

 **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**
火災や感電、故障の原因になります。
濡れ手禁止

 **自動車やオートバイの運転中は使用しない**
運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。
禁止

 **煙が出たり、異常な音やにおいがするなど、異常な状態のまま使用しない**
火災や感電、故障の原因になります。
禁止

 **定格電圧以外の電圧では使用しない**
機器の故障や、火災や感電の原因になります。
指示に従う

 **修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください**
発火したり、異常動作をしてケガの原因になります。
分解禁止

⚠ 注意



電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源コードを持たずに、必ずACアダプター本体を持って引き抜く。感電やショートして発火するおそれがあります。



初めからボリュームを上げすぎない。突然大きな音が出て耳を傷める原因となります。



湿度の高い所やほこりのある場所で使用しない。火災や感電、故障の原因になります。



自動車内など高温になる場所に放置しない。機器の変形や故障の原因になります。



再生中に本体の移動はしない。ディスクが高速回転していますので、中のディスクが傷ついたり破損するおそれがあります。

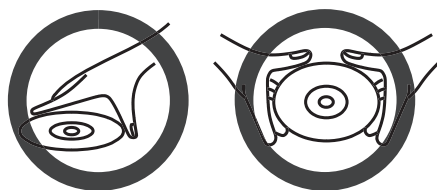
ディスクの取り扱いについて

※ BD、DVDおよびCDは、ほこり、汚れや引っかき傷が付かないように、慎重に取り扱ってください。

※ 引っかき傷、汚れ、ほこりなどからBD、DVDおよびCDを常に保護してください。使用していないときはBD、DVDおよびCDを購入したときに入っていたケースに入れて保護することをお勧めします。

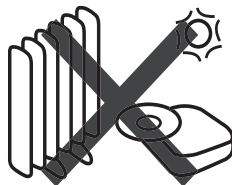
※ BD、DVDおよびCDにほこりや引っかき傷が付いたり歪んだりすると、音や映像が飛んだり途切れたり、または雑音が発生する原因となります。

※ BD、DVDおよびCDを持つときは、プレイ面に触れないように注意してください。



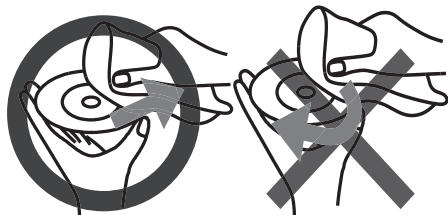
※ BD、DVDおよびCDはケースに入れて保管してください。ラベル面を上にしてラベル面を軽く押してケースに収納してください。

※ BD、DVDおよびCDは暖房機器の近く、温度が高い場所または、ほこりの多い場所には置かないでください。



※ ボールペンでラベル面に文字を書かないでください。BD、DVDおよびCDにラベルまたはシールなどを貼らないでください。

※ BD、DVDおよびCDのプレイ面に付着したほこりや汚れや指紋は柔らかい布を使い、BD、DVDおよびCDの内側から外側に向かって拭き取ってください。絶対に円を描くように拭かないでください。



※ 従来のレコードクリーナー、帯電防止剤、ベンゼン、シンナー、その他の溶剤は使用しないでください。

ディスクについて

再生可能なディスク



市販/レンタルディスク

- BD (ブルーレイディスク)
- DVD-VIDEO
- ビデオ CD / 音楽用 CD

記録ディスク

- BD-R/RE
- DVD-R/-RW (ファイナライズ済ディスク)
- DVD-R/+RW (ファイナライズ済ディスク)
- CD-R/-RW

BD/DVD/CDのフォーマットについて

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/BD-R/BD-REを再生できます。

- BD-MV
- BD-AV
- AVCHD・AVCREC
- DVD-VIDEO・DVD-VR
- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット) 準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル

本機は、以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオ CD フォーマット
- ISO 9660 レベル 1 / Joliet 準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できるAACs、CPRM*に対応しています。

- BDに著作権保護されたコンテンツを再生するために著作権保護技術「AACs」を採用しています。
- DVDに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。

*CPRM (Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- HD DVD
- DVD-RAM/DVD+R DL/DVD-R DL
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- MP3/JPEG画像を含まないデータDVDおよびデータCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- 上記のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販のDVD
- 円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした痕のあるディスク
- 傷の多いディスク

再生時のご注意

記録済みのCD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。
(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください。)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDには、再生できないものがあります。

本製品はコンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来DVDの規格とは異なるため、本製品での再生は保証いたしません。

BD・DVD・ビデオCD再生時の操作について

BD、DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が予め決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。

BDは地域番号に「A」が含まれているときは、本機で再生可能です。



DVDは地域番号に「2」または「ALL」が含まれているときは、本機で再生可能です



著作権について

※ ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開することや、有償、無償を問わずレンタルすることは法律により禁止されています。

※ ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピーガード機能により複製された映像は乱れます。

※ Blu-Rayロゴ、DVDロゴは商標です。また、本書に記載されている会社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

2 使用上のお願い

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいこと。

本機の取り扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルに傷がつかないようにしてください。
- 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。またゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因になります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないときは、ディスクを取り出し電源を切っておいてください。
- 長時間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

置き場所について

- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く、締めきった車内など温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

- 本体操作パネル部分の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。変色したり塗装がはげたりする原因となります。
- 液晶画面に付いた汚れなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

レーザー製品について

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあと必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行うとレーザー被曝の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機には、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため人体に影響はありませんが、安全のため絶対に製品を分解しないでください。

結露（露付き）について

結露（露付き）とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを結露（露付き）といいます。同じような現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部など水滴がつくことがあります。

- 結露に注意する
 - 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
 - 暖房をつけ始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接当たる場所に置いたとき
 - 夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高いところに移動したとき
 - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき
- 結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する
結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴が取れますので、しばらく放置してからご使用ください。

お車での使用について

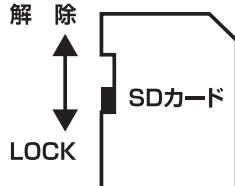
- 移動中、運転中の視聴および操作は大変危険ですのでおやめください。
- 誤った電源を使用すると故障やショートの原因となります。必ず付属の車載用シガーアダプターをご使用ください。付属のシガーアダプターはDC12V専用です。電圧DC-DCコンバーター等の電圧変換器などは使用しないでください。
- 自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DCアダプターを差し込んだままエンジンを始動するとBDプレーヤー本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行なってください。また電源分配機に接続していると電源供給が不安定なため正常に動作できない場合があります。
- 自動車エンジンの始動時と停止後再始動された状態のときに本機が正常に動作しない場合がございます。エンジンの再始動時は電圧が不安定になりますので、自動車メーカー、ディーラー等にもご相談ください。
- 真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。本製品の保存温度内としてください。(38 ページ参照)
- 自動車のエンジンがスタートおよび再スタート（アイドリングSTOP機能）する際、シガーソケットの電圧降下が発生すると、プレーヤー本体が誤動作することがありますのでご注意ください。

BD、DVDやCDおよび各種メディア再生について

- ピックアップのヘッド（ディスクを読み取るレンズ）には触れないでください。
- ディスクトレイにはBD、DVD、CD以外のものは挿入しないでください。またUSBポートとSDスロットに異物を挿入しないでください。
- ディスクをセットするときは1枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のターンテーブルにカチッと音がするまで差し込んでください。
- DVD-R/DL、CD-R/RW、DVD-R/RWおよび各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存形式によって再生できないものがあります。そのため全てのメディアの再生は保証できません。
- 本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
- 大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり、認識できない場合があります。
- 本機で再生できるCPRM ディスクはVR モードのみです。

メモリーカードについて

- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障または破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保証、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードの取り扱いについては、各メモリーカードの取扱説明書をご観覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損（消滅）する事はありませんが、誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下（表裏）の向きに注意して、最後までしっかり差し込んでください。
- メモリーカードへの書き込み、読み出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなど無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光が当たるところやストーブやヒーターなどの熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書き込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお買い求めください。
- 大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを解除
[LOCK]に切り換えると、ロック状態(書き込み禁止状態)にすることができます。
記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。



3 ご使用の前に

接続と操作を行なう前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。また、将来の参照用説明書として保存されることをお勧めいたします。本機は最先端の技術を駆使し小型・軽量化されており、簡単に操作できるように設計されています。ホテル、事務所、家庭などどこでも持ち運びに便利なポータブルブルーレイプレーヤーです。

※本書は仕様変更のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

主な特徴

- 9インチ TFT LCD (16 : 9)
- 再生メディア : BD/BD-R/BD-RE/DVD-R/RW/DVD+R/RW/DVD-Video/VCD/CD/CD-R/RW、SD/USBメモリー (最大128 GBまで)
- 再生フォーマット : DVD、CD、DVD-R/RW (VRモード/CPR記録ディスクを含む)、CD-R/RW、JPEG、PNG、GIF、AVI、MPEG4、MP3
- 再生コントロール機能 : 再生、一時停止、早送り、早戻し、停止
- 画面のアスペクト比 : 16 : 9
- 3 電源対応 : (ACアダプター / カー電源 / 内蔵リチウムイオン電池)
- SDカードまたはUSBメモリーをサポート
- 音飛びや画像の乱れを防止するアンチショック機能を採用
- 音楽CDのデータをSDカードまたはUSBメモリーにリッピング(録音)可能

ご注意

本製品での動画再生は動画 Xvid + 音声 mp3 拡張子 avi のMPEG4 動画ファイルでの動作を確認しております。携帯電話やビデオカメラなどで撮影したSDカードを直接挿入しても再生できない場合があります。詳しくは動画撮影する機器の取扱説明書をご確認ください。

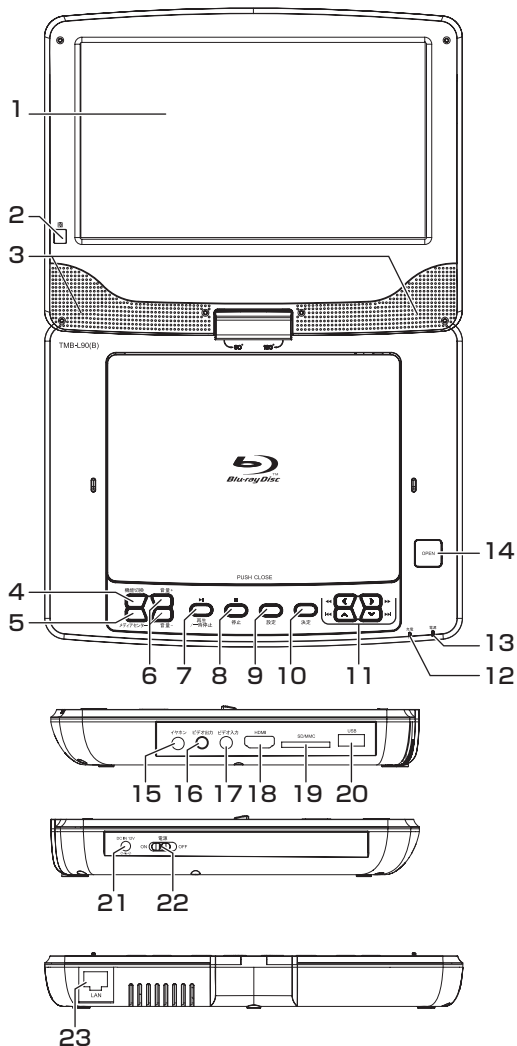
セット内容

以下がそろっているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告なく製品内容が変更されることもありますのであらかじめご了承ください。

1. BDプレーヤー本体×1
2. リモコン×1
3. 単4形乾電池(初期動作確認用)×2
4. 家庭用ACアダプター(AC100V-240V)×1
5. 車載用シガー電源アダプター(DC12V専用)×1
6. AVケーブル×1
7. イヤホン×1
8. 本体収納ケース(車載ヘッドレスト取付け用)×1
9. 取扱説明書(保証書付き)×1

4 本体各部の名称・機能

本体各部の名称



1. LCDパネル
2. リモコン受光部
3. スピーカー
4. 機能切換ボタン
5. メディアセンターボタン
6. 音量ボタン
7. 再生/一時停止ボタン
8. 停止ボタン
9. 設定ボタン
10. 決定ボタン
11. カーソルボタン
(次へ、前へ、
早送り、早戻し)
12. 充電表示
13. 電源表示
14. オープンボタン
15. イヤホン端子
16. ビデオ出力端子
17. ビデオ入力端子
18. HDMI出力端子
19. SD/MMCカードスロット
20. USBポート
21. DC電源入力端子
22. 電源スイッチ
23. LAN接続端子

※LCDパネルには保護フィルムが貼ってあります。ご使用の際は保護フィルムをはがしてご使用ください。

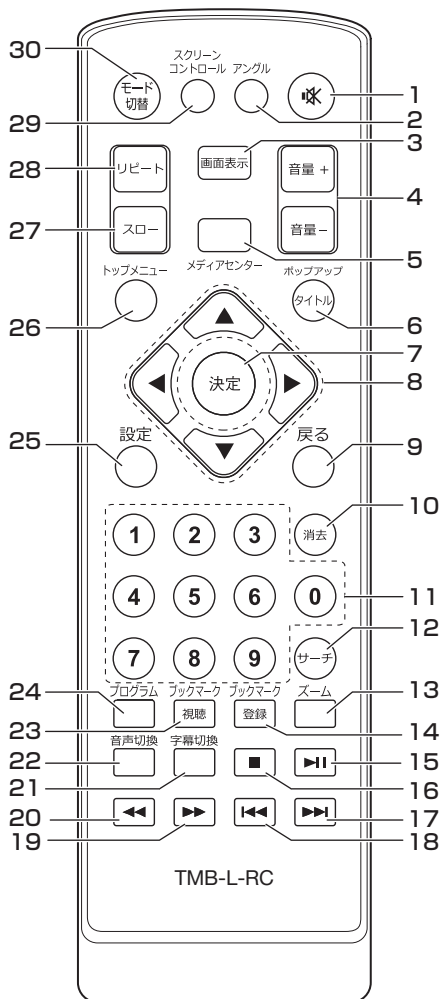
本体各部の機能

No	名称	表示	機能
1	LCDパネル	—	9インチ液晶画面
2	リモコン受光部	—	リモコンからの信号を受けます。
3	スピーカー	—	スピーカー X 2
4	機能切換ボタン	機能切換	DVD/AV IN (ビデオ音声入力) /MEDIA (SDカード/USBメモリー) の選択をします。
5	メディアセンターボタン	メディアセンター	再生するメディアを切り換えます。
6	音量ボタン	音量+ 音量-	音量+を押して、音量を上げます。 音量-を押して、音量を下げます。
7	再生/一時停止ボタン	▶▶ 再生/一時停止	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り換えを行ないます。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
8	停止ボタン	■ 停止	再生中に一回押すと一時停止します。二回押すとスタート位置に戻り停止します。
9	設定ボタン	設定	設定メニュー画面を表示します。
10	決定ボタン	決定	設定、選択した項目を実行します。
11	カーソルボタン	◀ ◀◀ ▶ ▶▶ ▲ ◀◀ ▼ ▶▶	メニューのハイライトされている部分を移動させるのに使用します。 ◀◀◀ ボタンを長押しして、早戻し再生ができます。利用可能なスピードは、◀◀◀1 (1段階)、◀◀◀2 (2段階)、◀◀◀3 (3段階)、◀◀◀4 (4段階)、◀◀◀5 (5段階) です。 ▶▶▶ ボタンを長押しして、早送り再生ができます。利用可能なスピードは、▶▶▶1 (1段階)、▶▶▶2 (2段階)、▶▶▶3 (3段階)、▶▶▶4 (4段階)、▶▶▶5 (5段階) です。 ※ ◀◀◀/▶▶▶ ボタンを短く押すと、早戻し/早送り再生は行われません。 ▲◀◀ ボタンを押して、前のチャプターまたはトラックにスキップします。 ▼▶▶ ボタンを押して、次のチャプターまたはトラックにスキップします。
12	充電表示	充電	充電中に赤色に点灯します。 充電が終わると消灯します。
13	電源表示	電源	電源が入ると青色に点灯します。

No	名称	表示	機能
14	オープンボタン	OPEN	本体のディスクカバーが開きます。
15	イヤホン端子	イヤホン	Φ3.5ステレオミニジャック用のステレオイヤホンを接続できます。
16	ビデオ出力端子	ビデオ出力	付属のAVケーブルを接続し、本機を外部機器で再生します。(本機→外部機器)
17	ビデオ入力端子	ビデオ入力	付属のAVケーブルを接続し、外部機器を本機で再生します。(外部機器→本機)
18	HDMI出力端子	HDMI	市販のHDMIケーブルを使って、HDMI入力端子を備えたテレビまたはモニターと接続します。
19	SD/MMCカードスロット	SD/MMC	再生用のソースが入ったカードを挿入します。(最大128GBまで)
20	USBポート	USB	再生用のソースが入ったUSBメモリーを挿入します。(最大128GBまで)
21	DC電源入力端子	DC IN12V	付属のACアダプターまたはシガー電源アダプターを接続します。
22	電源スイッチ	電源 ON OFF	本体電源のON/OFFを切り換えます。 ※本体の電源をOFFにすると、リモコンではON/OFFできません。リモコン使用時は必ず本体の電源をONにしてご使用ください。
23	LAN接続端子	LAN	BD-LIVE™に対応したBDソフトをお使いのときに、ご家庭のLANケーブルと接続し、BD-LIVE™をお楽しみいただけます。

5 リモコン各部の名称・機能

リモコン各部の名称



1. 消音ボタン
2. アンゲル
3. 画面表示ボタン
4. 音量ボタン
5. メディアセンターボタン
6. タイトル/ポップアップボタン
7. 決定ボタン
8. カーソルボタン
9. 戻るボタン
10. 消去ボタン
11. 数字ボタン
12. サーチボタン
13. ズームボタン
14. ブックマーク登録ボタン
15. 再生/一時停止ボタン
16. 停止ボタン
17. 次へ(スキップ)ボタン
18. 前へ(スキップ)ボタン
19. 早送りボタン
20. 早戻しボタン
21. 字幕切換ボタン/録音ボタン
22. 音声切換ボタン
23. ブックマーク視聴ボタン
24. プログラムボタン
25. 設定ボタン
26. トップメニューボタン
27. スローボタン
28. リピートボタン
29. スクリーンコントロールボタン
30. モード切替ボタン

リモコン各部の機能

※再生するメディアの種類またはディスクにより、機能しないボタンがあります。

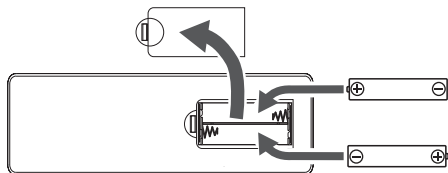
No	名称	表示	機能
1	消音ボタン	🔇	一時的に音が消えます。元に戻すには、もう一度押すことにより元に戻ります。 ※ 電源ボタンをオフにすると消音設定は解除されます。
2	アングルボタン	アングル	アングルの情報が入ったディスクを再生中にアングルを変更できます。
3	画面表示ボタン	画面表示	再生中画面の上側にディスクの情報を表示します。
4	音量ボタン	音量	【音量+】ボタンを押すと音量が上がります。 【音量-】ボタンを押すと音量が下がります。
5	メディアセンターボタン	メディアセンター	再生するメディアを切り換えます。
6	タイトルポップアップボタン	タイトル ポップアップ	再生中画面にタイトルメニューやポップアップメニューを表示します。
7	決定ボタン	決定	設定、選択した項目を実行します。
8	カーソルボタン	▲▼◀▶	方向ボタンでメニューのハイライトされている部分を移動させるのに使用します。
9	戻るボタン	戻る	元の設定や画面に戻ります。
10	消去ボタン	消去	入力項目を消去します。
11	数字ボタン	0、1～9	数字の入力時に使います。
12	サーチボタン	サーチ	再生中にご覧になりたい位置から再生を開始します。
13	ズームボタン	ズーム (青色)	2X、3X、4X、1/2、1/3、1/4でズームイン、ズームアウトすることができます。 画面の指示の青色ボタンとして使用します。
14	ブックマーク登録ボタン	ブックマーク登録 (黄色)	ブックマークを設定します。 画面の指示の黄色ボタンとして使用します。
15	再生/一時停止ボタン	▶	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り換えを行ないます。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
16	停止ボタン	■	再生中に一回押すと一時停止します。 二回押すとスタート位置に戻り停止します。

No	名称	表示	機能
17	次へ(スキップ)ボタン	▶▶	次のチャプター、またはトラックにスキップします。
18	前へ(スキップ)ボタン	◀◀	前のチャプター、またはトラックにスキップします。
19	早送りボタン	▶▶	早送り再生ができます。 利用可能なスピードは、 ▶▶1 (1段階)、▶▶2 (2段階)、▶▶3 (3段階)、 ▶▶4 (4段階)、▶▶5 (5段階)です。
20	早戻しボタン	◀◀	早戻し再生ができます。 利用可能なスピードは、 ◀◀1 (1段階)、◀◀2 (2段階)、◀◀3 (3段階)、 ◀◀4 (4段階)、◀◀5 (5段階)です。
21	字幕切替ボタン/ 録音ボタン	字幕切替	複数の字幕が収録されているBDまたはDVDの再生中、字幕を切り換える際に使用します。 音楽CDをSDカードまたはUSBメモリに録音するときに押します。
22	音声切替ボタン	音声切替	複数の音声 that 収録されているBDまたはDVDの再生中、音声を切り換える際に使用します。
23	ブックマーク 視聴ボタン	ブックマーク視聴 (緑色)	設定したブックマークを表示します。 画面の指示の緑色ボタンとして使用します。
24	プログラム ボタン	プログラム (赤色)	プログラム再生を設定します。 画面の指示の赤色ボタンとして使用します。
25	設定ボタン	設定	設定メニュー画面を表示します。
26	トップメニュー ボタン	トップメニュー	トップメニュー画面の表示に切り換えます。
27	スローボタン	スロー	スローで再生します。 1/2X、1/4X、1/8X、1/16Xの速度に設定 できます。
28	リピートボタン	リピート	ボタンを押すことにより繰り返しモードになり ます。 BD/DVD(チャプター → タイトル → オール) CD(トラック → オール) ※ 本体、リモコンの電源ボタンをオフにするとリピ ートは解除されます。
29	スクリーン コントロールボタン	スクリーン コントロール	再生中画面にサブメニューを表示します。
30	モード切替 ボタン	モード切替	ディスクの再生とビデオ入力を切り換えます。

6 リモコン・本体の準備および接続

リモコンを準備する

リモコンを使用する前に、リモコン背面の電池カバーを開け、単4形乾電池 2本を挿入してカバーを元に戻してください。



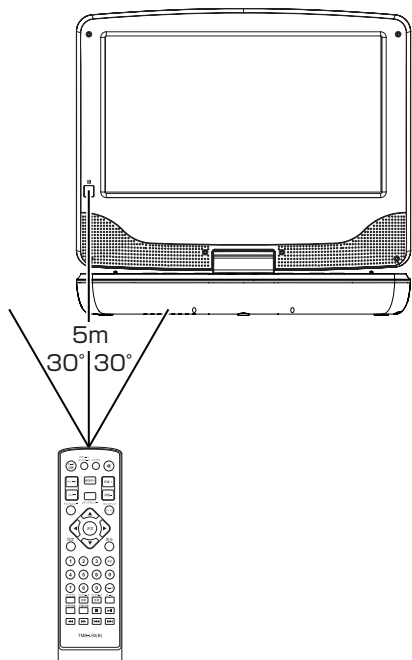
※付属の単4形乾電池は、初期動作確認用です。お早めに新しい電池と交換してください。

電池の交換

プレーヤーがリモコンに反応しない場合は、リモコンの電池が切れている可能性があります。新しい電池に交換してください。

リモコンの操作

リモコンを使用する際は、本機のLCDパネル横のリモコン受光部から約5m、左右に各30度以内の角度で操作するようにしてください(特に本体から3m以上離れる場合)。



※充電式の電池はお使いにならないでください。リモコンの故障や感電の原因となることがあります。
※リモコンに衝撃を与えたり、水をかけたり、湿度の高い場所に放置しないでください。

リモコン操作のご注意

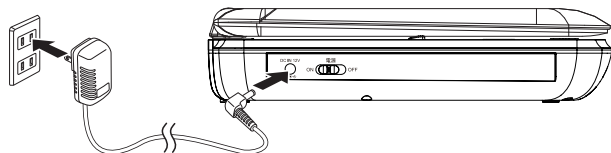
リモコンは、赤外線を使っております。以下についてご注意のうえ、お使いください。

- 本機に直射日光や強い光を当てないでください。直射日光や強い光が当たるとリモコンが正しく動作しないことがあります。
- リモコンと本機の間には遮蔽物を置かないでください。リモコンからの信号が受信できず、本機が正しく動作しないことがあります。

電源を接続する

ACアダプターを使う

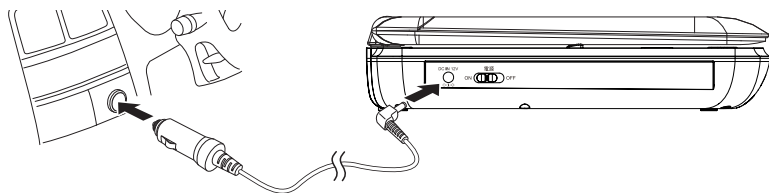
1. 本体側面の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。
2. 本体側面のDC電源入力端子に付属ACアダプターのDCプラグを接続します。
3. 付属ACアダプターをAC100Vのコンセントに接続します。



- ※長期間電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ずコンセントからACアダプターを取り外してください。
- ※お手入れや点検の時には、本体からACアダプターを取り外してください。

シガー電源アダプターを使う

1. 本体側面の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。
2. 本体側面のDC電源入力端子に付属シガー電源アダプターのDCプラグを接続します。
3. 付属シガー電源アダプターを車のシガーソケット(DC12V)に接続します。



- ※シガー電源アダプターはDC12V車専用です。他の車には使用しないでください。
- ※長期間電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ず本体からシガー電源アダプターを取り外し、本体およびシガー電源アダプターを車に放置しないでください。
- ※DC-DCコンバーターなどの電圧変換器は使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- ※お車での使用について、シガー電源アダプターを差し込んだままエンジンを始動すると、機器に大きな電流が流れて破損したり、車側のヒューズが破損する事があります。
- ※エンジン始動時は必ず、シガー電源アダプターを抜いてください。

充電する

1. 電源スイッチをOFFに合わせます。
2. 「電源の接続」をご覧になり、DC電源入力端子にACアダプターまたはシガー電源アダプターを接続します。



- ※ 付属のACアダプターおよびシガー電源アダプターは本機専用です。
- ※ 付属のACアダプターまたはシガー電源アダプター以外は使わないでください。
- ※ 付属のACアダプターまたはシガー電源アダプターを他の機器に使わないでください。

3. ACアダプターを交流100Vのコンセントに接続します。またはシガー電源アダプターをシガーソケットに接続します。
 - 充電が始まり充電表示が赤色に点灯します。
 - 充電時間は約4時間(電源切状態)です。充電完了後、充電表示は消灯します。



- ※ 濡れた手でACアダプターまたはシガー電源アダプターを抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。
- ※ 電源スイッチを切っても電源から完全には遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐにACアダプターを抜くことができるコンセントに接続してください。

充電完了後、約3.5時間(BD、DVD再生時)使えます。

ACアダプターまたはシガー電源アダプターを接続したまま使用するには、電源スイッチをONに合わせます。

バッテリーを長くご使用いただくために

バッテリーは消耗品のため、保証対象外になります。

次の場合は、バッテリーの寿命が短くなったり、故障の原因となります。ご注意ください。

- 落下等の強い衝撃を与える
- 直射日光の当たる場所、ストーブ、コンロ、こたつ、ホットカーペット等の高温の場所に本機を放置する
- 使用環境温度(0℃～40℃)以外での使用

リチウムイオン電池について

本機のバッテリーには、リチウムイオン電池が使用されています。

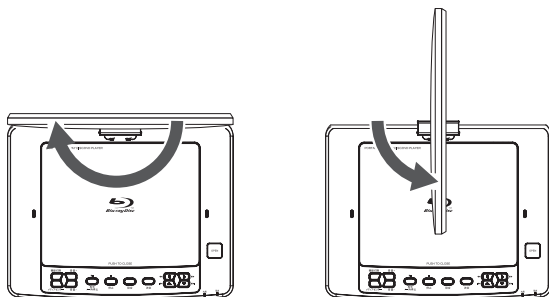


- ※ 内蔵のリチウムイオン電池は充放電条件や使用環境温度によって変わりますが、通常約500回程度の充電ができます。
- ※ 正しく充電していても使用時間が著しく短くなった場合は、バッテリーの寿命です。
- ※ この製品を廃棄する際には、バッテリー(リチウムイオン電池)を取り出してリサイクルにご協力ください。
- ※ 不要になった充電電池の処分については、各自治体の廃棄方法に従って、安全に処分してください。

LCDパネルを回転する

LCDパネルを回転して使うことができます。

1. LCDパネルを開いた状態で時計回り(右方向)に180°回転します。
2. LCDパネルを開いた状態で反時計回り(左方向)に90°回転します。



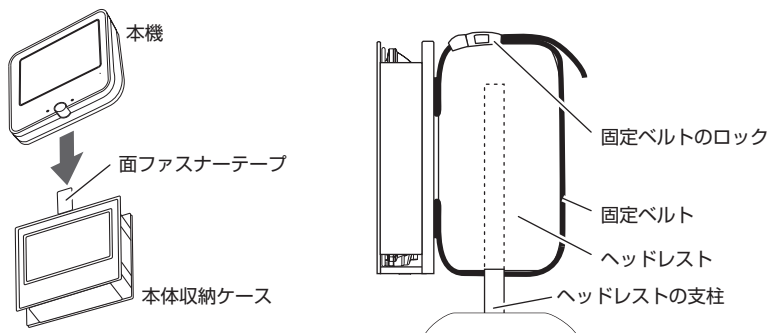
※ LCDパネルは、時計回りに180°、反時計回りに90°以上は回りません。これ以上にLCDパネルを回転させようとしたり、必要以上の力でLCDパネルを回転させないでください。

※ LCDパネルの液晶部を持って回転させないでください。

本体収納ケースを使う

車のヘッドレストに本体収納ケースを取り付けて使うことができます。

1. LCDパネルを開いた状態で時計回り(右方向)に180°回転します。
2. 本体収納ケース上部の面ファスナーテープを開き、本機を収納します。
3. 本体収納ケース上部の面ファスナーテープを閉めて、本機をしっかりと固定します。
4. 固定ベルトをヘッドレストの支柱の内側に通し、固定ベルトのロックをカチッと鳴るまで差し込みます。



※ 運転に支障をきたす場所、または車の安全装置の動作に支障をきたす場所には設置しないでください。


※ 背もたれとヘッドレストが一体式のシートなど車種の構造上取り付けられない場合があります。

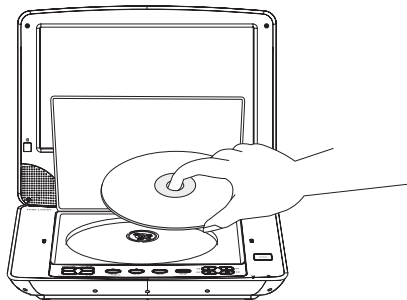
※ 運転前には、本体収納ケースの固定ベルトがしっかりと取り付けられていることを確認してください。


7 再生する

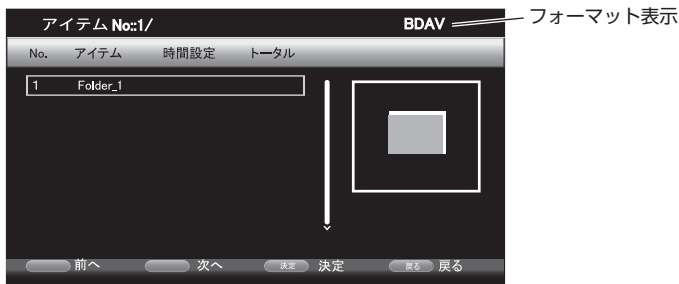
ディスクを再生する

全ての準備が正しく完了しましたら、本機でディスクを再生してみましょう。

1. LCDパネルを開き、電源スイッチをON側にして電源を入れます。
2. オープンボタンを押してディスクカバーを開けます。
 - 画面に「 (開く)」が表示されます。
3. ディスクをトレイの上に置きます。
4. カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。



5. ディスクカバーを閉めます。
 - ディスクカバーを閉めると「 (読み込み中)」が表示され自動的に再生が始まります。
 - ディスクによっては自動で再生が始まらないことがあります。自動で再生が始まらない場合は、**[▶|▶]** ボタンまたは **[決定]** ボタンを押してください。
 - ディスクによっては、メニューが表示されることがあります。**[▲ ▼ ◀ ▶]** ボタンで項目を選び、**[決定]** ボタンを押してください。
6. 次のフォーマットで記録したディスクを入れたときは、**[▲ ▼ ◀ ▶]** ボタンで項目を選び、**[決定]** ボタンを押します。
 - 記録フォーマット：BD-AV、DVD-VR(MVR)、AVCHD、AVREC、MP3、JPEG。
 - 下記の画面が表示されます。





- ※ ディスクをトレイに置く際には、トレイ中央部のホルダーに無理な力を掛けないでください。破損するおそれがあります。
- ※ ディスクが回転中に電源を切ると、本機破損の原因となります。必ずディスクを停止してから、電源を切ってください。また、電源コードは、電源を切ってから取り外してください。
- ※ 本機またはリモコンを操作すると、画面に⓪マークが出る場合があります。本機またはディスク側で操作が無効であることを意味します。
- ※ ディスクにより再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されることがあります。表示が出た場合は、その指示に従って操作してください。

レジューム機能

DVD-Videoのみ、停止位置からの再生を行うレジューム機能が使えます。

1. レジューム機能で再生した位置になったら、**【■】** ボタンを1回押します。
2. DVDが停止した後に電源を切ります。
3. 再度、電源を入れます。
 - **【■】** ボタンを押した位置からの再生が始まります。



- ※ レジューム機能は、DVD-Videoのみ有効です。録画されたディスクには対応していません。
- ※ レジューム機能は、ディスクによって操作に制限があり、正常に動作しないことがあります。

ディスクメッセージ

画面上に下記メッセージまたは画面が表示された場合は、使用するディスクをご確認ください。

●リージョンエラー

- 本機で再生できる地域(リージョン)以外のディスクを再生しようとした場合に表示されます。
- 本機で再生できる地域(リージョン)は、Blu-rayの「A」、DVDの「2」です。地域(リージョン)が違うディスクは再生できません。

●パスワード(暗証番号)入力画面

- 本機で視聴制限レベルを設定したとき、視聴制限が設定されているディスクとレベルと合わない場合に表示されます。
- 設定した暗証番号を入力することでロックが解除されます。(初期パスワードは「0000」です)



- ※ ディスクにより、再生できなかつたり、操作が制限されることがあります。
- ※ 本機は、ディスクの記録条件によって再生できない場合があります。本機の不良ではございません。特にディスク作成時の記録品質が重要です。再生するディスクの説明書等をご覧ください。

メディアを再生する

市販のメディア（USBメモリーまたはSDカード）に入れた動画・静止画や音楽を再生させることができます。

※本機にBD・DVD・CDディスクが入っていないときは自動的にデバイスを認識します。



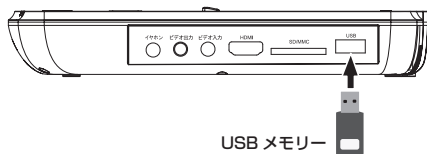
※ 本機で使える USBメモリーの容量は 128GB までです。

※ 本機で使える SD (SDHC) カードの容量は 128GB までです。

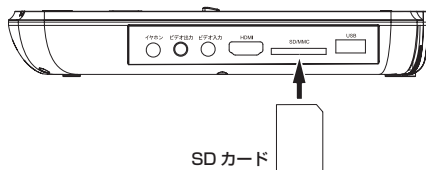
メディアを接続する

市販のUSBメモリーおよびSDカードを本機に接続します。

1. 再生を停止します。
2. USBメモリーは、本機のUSBポートに接続します。
3. SDカードは、本機のSD/MMCカードスロットに接続します。



USBメモリー

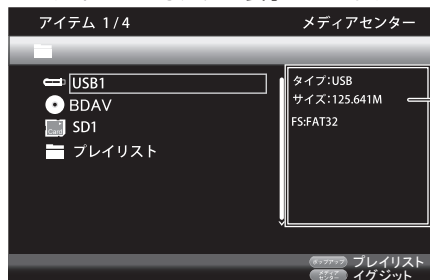


SDカード

• USBメモリーとSDカードの両方を接続することができます。

メディアセンター機能を使って再生する

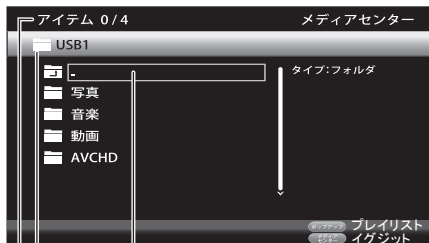
1. 【メディアセンター】ボタンを押します。
 - 接続されているメディアが表示されます。
2. 【▲ ▼】ボタンを押して、再生するメディアを選択し、【決定】ボタンを押します。
 - メディアのフォルダが表示されます。



カーソルで選択されている項目の情報を表示します。

- USB1:USBメモリーのデータを読み込みます。
 - BDAV:ディスクトレイに挿入されたディスクを読み込みます。
 - ※表示はディスクにより異なります。
 - SD1:SDカードのデータを読み込みます。
 - プレイリスト:プレイリストに登録されたデータを読み込みます。
- ※表示されるメディアが、読み込み可能であることを保証するものではありません。

3. **【▲ ▼】** ボタンを押し再生したいフォルダを選択し、**【決定】** ボタンを押しします。
- フォルダ内のファイルが表示されます。
 - データにより、更にフォルダが表示されることがあります。その場合は、再生したいファイルが表示されるまで、この手順を繰り返してください。

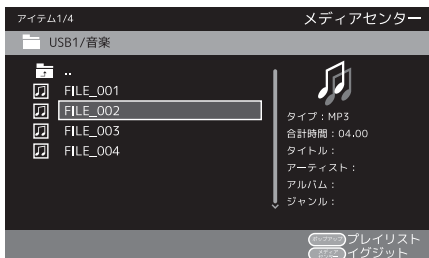


↑
1 つ上の階層に戻ります。
↓
選択されているフォルダの階層を表示します。
アイテム番号 / 総アイテム数を表示します。



※ 写真データ・音楽データ・動画データ・AVCHD は記録されているファイルの種類で本機が自動的に分類し表示します。記録されている USB メモリーや SD カードにより分類はされません。
※ 表示されるファイルが再生可能であることを保証するものではありません。

- 本機でリッピング (変換) されたトラックは、保存先メディア (SD カードまたは USB メモリー) の「ALBUM」フォルダに保存されています。
4. **【▲ ▼】** ボタンを押し再生したいファイルを選択し、**【決定】** ボタンまたは **【▶||】** ボタンを押しします。



- ファイル再生の画面が表示されます。
5. 再生を停止するには、**【■】** ボタンを 2 回押ししてください。
- ファイル再生の画面からフォルダの画面に換わります。
 - **【■】** ボタンの 1 回押し、または再度 **【▶||】** ボタンを押した場合は、一時停止になります。再生を再開するには、**【決定】** ボタンまたは **【▶||】** ボタンを押ししてください。
6. USB メモリーまたは SD カードを外すには、**【■】** ボタンを押しして再生を停止してから外します。

基本的な操作

ディスクの種類や動作の状態により、機能しない場合があります。

再生/一時停止

停止中に **▶▶** ボタンを押すと、再生を始めます。

- ▶▶** 再生中に **▶▶** ボタンを押すと、再生を一時停止します。
一時停止中に **▶▶** ボタンを押すと、一時停止を解除し、再生を始めます。

停止

■ ボタンを1回押すと停止します。
■ ボタンを2回押すと完全に停止します。



- レジューム機能(停止位置からの再生)を使うには、**■** ボタンを1回押して停止した後に電源を切りります。
- レジューム機能は、DVD-Videoのみ有効です。録画されたディスクには対応していません。
- レジューム機能は、ディスクによって操作に制限があり、正常に動作しないことがあります。

早戻し・早送り

ディスクの再生中に、**◀◀** ボタンを押すたびに、下記の速さで早戻し再生を行います。



◀◀ 1 → **◀◀** 2 → **◀◀** 3 → **◀◀** 4
(1段階) (2段階) (3段階) (4段階)
元の再生速度 ← **◀◀** 5
(5段階)

ディスクの再生中に、**▶▶** ボタンを押すたびに、下記の速さで早送り再生を行います。



▶▶ 1 → **▶▶** 2 → **▶▶** 3 → **▶▶** 4
(1段階) (2段階) (3段階) (4段階)
元の再生速度 ← **▶▶** 5
(5段階)

スキップ(頭出し)

◀◀ ボタンを押して、再生中のチャプターまたはトラックの最初に戻ります。さらに **◀◀** ボタンを押すと、前のチャプターまたはトラックにスキップします。
▶▶ ボタンを押して、次のチャプターまたはトラックにスキップします。



音量の調整



音量+ ボタンを押すと、音量が上がります。
音量- ボタンを押すと、音量が下がります。

消音



消音 ボタンを押すと、一時的に音が消えます。元に戻すには、もう一度 **消音** ボタンを押します。
• **音量+/-** ボタンを押すと消音設定は解除されます。
• 電源スイッチをOFFにすると消音設定は解除されます。

スロー再生

スロー ボタンを押すたびに、下記の速さでスロー再生を行います。



1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2
元の再生速度

- スロー再生中は、音声は出力されません。

メニュー・タイトルの表示

トップメニュー **【トップメニュー】** ボタンを押すと、ディスクのトップメニューに切り換わります。



ポップアップ **【タイトル/ポップアップ】** ボタンを押すと、再生中画面にディスクのタイトル画面を表示します。



入力の切り換え



モード切替 ボタンを押す度に、ディスク等の再生とビデオ入力の再生を切り換えます。

メディアの切り換え

【メディアセンターボタン】を押すと、メディアセンターの画面が表示されます。【▲ ▼】ボタンを押してメディアを選択し、【決定】ボタンを押します。

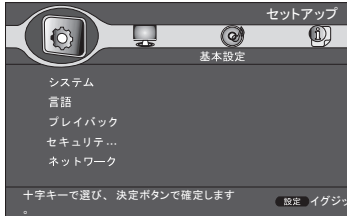


メディアセンター

設定の変更

設定ボタンを押すと、設定の画面が表示されます。

設定

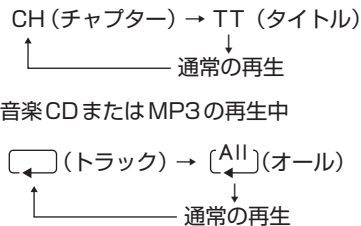


- ・【▲ ▼】ボタンを押して設定項目を選択し、【決定】ボタンを押します。

繰り返し再生

再生中に【リピート】ボタンを押すたびに、下記の繰り返し再生を行います。BDまたはDVDの再生中

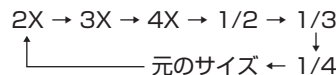
リピート



画面の拡大・縮小

再生中に【ズーム (青色)】ボタンを押すたびに、画面の拡大・縮小を下記のように行います。

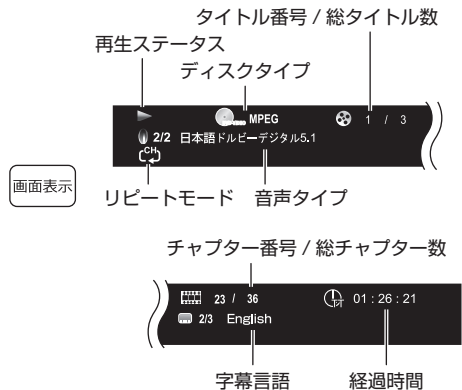
ズーム



拡大されている映像は、【▲ ▼ ◀ ▶】ボタンを押して移動することができます。

ディスクの情報を表示

再生中に【画面表示】ボタンを押すと、ディスクの情報を画面の上部に表示します。



- ※ディスクによっては、経過時間などが正常に表示されないことがあります。

字幕の切り換え

【字幕切換】ボタンを押すと、ディスクに記録されている字幕を切り換えます。

字幕切換



- ※字幕の情報が記録されていないディスクでは、字幕の切り換えはできません。ディスクをご確認ください。
- ※ディスクによっては、ディスクのメニュー画面でのみ字幕を切り換える場合があります。

音声の切り換え

【音声切換】ボタンを押すと、ディスクに記録されている音声またはサウンドトラックを切り換えます。

音声切換



- ※音声の情報が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。ディスクをご確認ください。
- ※ディスクによっては、ディスクのメニュー画面でのみ音声を切り換える場合があります。

8 便利な再生方法

プログラム再生

チャプターやトラックの再生順を設定(プログラム)できます。

1. 【プログラム (赤色)】 ボタンを押します。
 - プログラムの画面が表示されます。



2. 【決定】 ボタンを押します。
 - プログラムの1番目が設定できるようになります。



3. 【▲ ▼】 ボタンを押してプログラムする数字を選択し、【◀ ▶】 ボタンを押してタイトルとチャプターを切り換え、【決定】 ボタンを押します。
 - 【決定】 ボタンを押すと、次の番号にカーソルが移動します。
4. 手順の2と3を繰り返して、プログラムしたいタイトルとチャプターを決めます。
5. プログラム再生を始めるには、【▶▶】 ボタンを押します。
 - プログラムした順に再生されます。

サーチ再生

ディスク再生中に、タイトル番号、チャプター番号または時間を入力してご覧になりたい位置から再生ができます。

1. 【サーチ】 ボタンを押します。
 - サーチ表示が再生画面の上側に表示されます。



• 約15秒経過すると、サーチ表示からディスク情報表示になります。

2. 【▲ ▼】 ボタンを押してタイトルとチャプターを切り換え、【決定】 ボタンを押します。



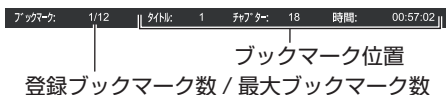
3. 【◀ ▶】 ボタンを押してタイトル番号、チャプター番号または時間にカーソルを移動します。
4. 【▲ ▼】 ボタンを押して、タイトル番号、チャプター番号または時間を変更します。
5. 再生を始めるには、【決定】 ボタンを押します。
 - サーチした箇所から再生されます。
 - サーチ表示(ディスク情報表示)を消すには、【画面表示】 ボタンを押します。

ブックマーク機能

再生を開始したい位置を登録(ブックマーク)することができます。

ブックマークの登録

1. 再生中に登録したい位置になったら、【ブックマーク登録(黄色)】 ボタンを押します。
 - ブックマークの登録が表示されます。

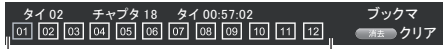


• ブックマークは最大12ヶ所登録できます。

※再生を完全に停止する(【■】 ボタンを2回押し)と、登録したブックマークは消去されます。

ブックマークでの再生

- 再生中に【ブックマーク視聴（緑色）】ボタンを押します。
 - ブックマークのリストが表示されます。



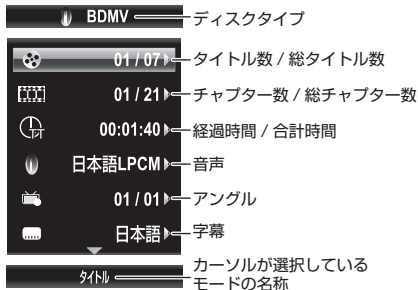
ブックマーク番号

- 【◀ ▶】ボタンを押して再生したいブックマークを選択し、【決定】ボタンを押します。
 - 選択したブックマークの位置から再生が始まります。
- ブックマークを削除するには、【◀ ▶】ボタンを押して削除したいブックマークを選択し、【消去】ボタンを押します。

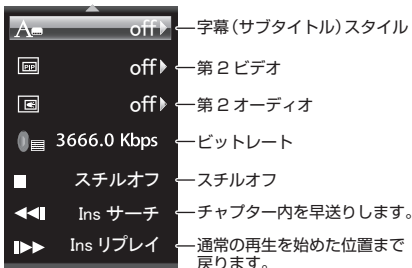
サブメニュー機能

再生中に表示されるサブメニューを使って、各機能の設定を変更できます。

- 再生中に【スクリーンコントロール】ボタンを押します。
 - サブメニュー画面が表示されます。



- 【▲ ▼】ボタンを押して設定したい項目を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - 【▼】ボタンを続けて押すと、サブメニュー画面の下側が表示されます。



- 【◀ ▶】ボタンを押して、設定したい項目の内容を変更し、【決定】ボタンを押します。
- サブメニューを消すには、【スクリーンコントロール】ボタンを押します。

BD-Live機能

BD-Live™に対応したBDを使用し、本機をインターネットに接続することで、最新映画の予告編や特典映像、ゲームなど双方向通信機能を使ったコンテンツを楽しめます。

- 本機のLAN接続端子に市販のLANケーブルで接続し、ご家庭のインターネット環境と接続します。
 - LANケーブルはカテゴリ 5以上のケーブルをご使用ください。
- 設定メニューにて、ネットワークを設定します。
- 本機のUSBポートに市販のUSBメモリーを接続します。
 - USBメモリーは1GB以上のUSBメモリーをご使用ください。
 - USBメモリーは、パソコンなどを使って予めFAT32にフォーマットしてください。
- BDの再生を開始し、メニューにしたがって、BD-Live™に接続します。

USBメモリーについて

- BD-Live™を使用中にUSBメモリーは取り外さないでください。
- データの消去を防ぐため、BD-Live™に使用するUSBメモリーには、他のデータを入れないでください。
- BD-Live™のデータのダウンロード先は、USBメモリー内の「BUDA」フォルダになります。
- データの消失などにつきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。


インターネット接続について

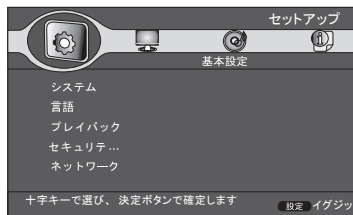
- インターネットの回線状況により、ダウンロードには数分かかることがあります。
- ディスクによってはBD-Live™機能が使用できない場合があります。
- IPアドレスの初期値は自動取得(DHCP)になっています。













9 設定の変更

セットアップメニューにて本機の設定を変更できます。

セットアップの設定方法

1. **【】** ボタンを1回押してディスクを停止します。
2. 設定ボタンを押します。
 - セットアップメニューが表示されます。

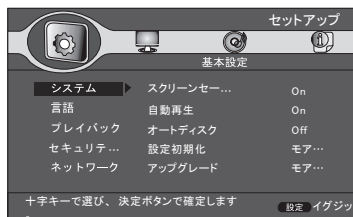


- ディスクにより、ディスクを停止しなくてもセットアップメニューが表示されます。
3. **【 】** ボタンを押して、項目を選びます。
 4. **【 】** ボタンを押して、各項目の内容を選びます。
 5. **【   】** ボタンを押して、更に細かい設定項目や設定値を変更し、OKボタンを押して決定します。
 - 項目名が長い場合に、項目名が全て表示されていない場合があります。そのような項目は、**【   】** ボタンでカーソルを項目に合わせると、横スクロールして項目名が見えるようになります。
 6. セットアップメニューを閉じるには設定ボタンを押します。

基本設定

システム

本機の基本的な設定を変更できます。



●スクリーンセーバー

一定時間が経過するとモニター保護のスクリーンセーバーのオンとオフを設定できます。

●自動再生

ディスクを入れたときの自動再生のオンとオフが設定できます。

●オートディスクアップグレード

オートディスクアップグレードを設定します。

●設定初期化

設定をご購入時に戻すことができます。

- **【OK】** を選択すると設定を初期化し、ブルーレイプレーヤーセットアップウィザード画面を表示します。
- **【キャンセル】** を選択するとシステム設定画面に戻ります。

●アップグレード

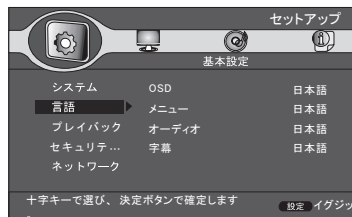
使用しないでください。当社にてサービス作業時に使用します。

●BUDA

BD-Liveに使用するBUDAフォルダの情報や使用するメディアを選択します。
BUDAインフォメーション：BUDAフォルダの空き容量等の情報を表示します。
BUDAセットアップ：BD-Liveに使用するメディアを選択します。

言語

本機の表示や出力される言語の設定を変更できます。



●OSD

サブメニューやセットアップメニューやその他の設定で表示される言語を選択することができます。

●メニュー

メニューで表示される言語を選択することができます。

- ディスクにより、設定できない言語があります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

●オーディオ

出力される音声の言語を設定できます。

- ディスクにより、設定できない言語があります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

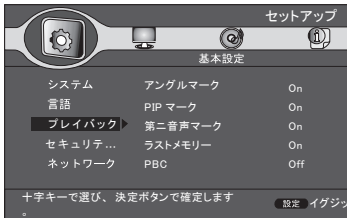
●字幕

字幕の言語を設定できます。

- ディスクにより、設定できない言語があります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

プレイバック

再生の設定を変更できます。



●アングルマーク

アングルの情報があるメディアを再生したときに、アングルマーク表示のオンとオフを設定できます。

- アングルマーク表示をオフに設定しても、アングル機能は使えます。

●PIPマーク

小さい別の画面 (Picture In Picture) の情報があるメディアを再生したときに、PIPマーク表示のオンとオフを設定できます。

- PIPマーク表示をオフに設定しても、PIP機能は使えます。

●第二音声マーク

第二音声の情報があるメディアを再生したときに、第二音声マーク表示のオンとオフを設定できます。

- 第二音声マーク表示をオフに設定しても、第二音声は再生できます。

●ラストメモリー

DVDを再生中に停止ボタンを1回押して電源を切ると、電源を入れたときに、停止ボタンを押した箇所から再生が始まります。

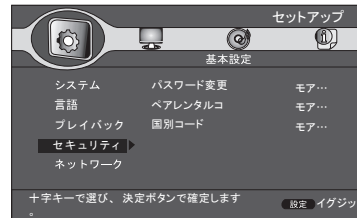
- この機能はDVDのみ有効です。
- DVDでもディスクにより、ラストメモリーが働かない場合があります。
- プログラム再生中は、この機能は働きません。

●PBC

ビデオCDの再生設定のオンとオフを設定できます。

セキュリティ

ペアレンタルコントロール等の視聴制限の設定を変更できます。



●パスワード変更

ペアレンタルコントロール等で必要になるパスワードが変更できます。

- 「パスワード変更」を選択して、OKボタンが▶ボタンを押すと、パスワード変更画面が表示されます。現在のパスワードをリモコンの数字ボタンで入力し、次に出てくる画面に新しいパスワードを入力してください。
- ご購入時のパスワードは「0000」です。
- パスワードは設定の初期化を行っても、ご購入時に戻りません。パスワードを忘れないようにご注意ください。

●ペアレンタルコントロール。

視聴制限のあるディスクを再生する際のペアレンタルコントロールのレベル設定を変更できます。

- ペアレンタルコントロールのレベル設定は、視聴制限のあるディスクでのみ有効です。

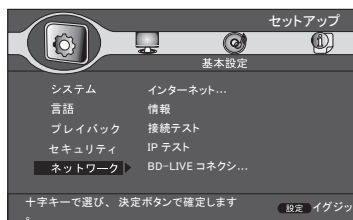
●国別コード

国別による制限のあるディスクを再生する際の国の設定を変更できます。

- 国別コードの変更は、国別コードのあるディスクでのみ有効です。

ネットワーク

インターネットへの接続の設定を変更できます。



●インターネット接続

インターネットへの接続の有効・無効を設定できます。

●情報

インターネットへの接続状態を表示します。

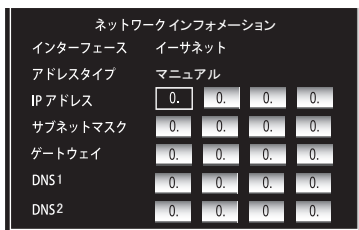
●接続テスト

インターネットへの接続結果を表示します。

●IP設定

IPアドレスの取得方法を設定します。

- オートに設定するとIPアドレスを自動で取得します。
- マニュアルに設定すると、下記の画面にて設定を行います。



●BD-LIVEコネクション

BD-LIVEのインターネットへの接続の許可を設定できます。

●プロキシ設定

プロキシを設定します。

映像設定

TV

接続するテレビの設定に合わせて設定を変更できます。テレビの説明書をよく読みになり、テレビの設定に合わせてください。



●TVスクリーン

テレビ画面サイズ (アスペクト比) を設定できます。

- 16:9 フル：ワイドテレビにフルスクリーンでの映像を出力します。
- 16:9 ノーマル：通常の映像を出力します。
- 4:3 パンスキャン：ワイド映像の左右をカットした映像を出力します。
- 4:3 レターボックス：ワイド映像の上下に黒色の帯を付けて映像を出力します。

●解像度

HDMI接続時の出力解像度を設定します。

- 設定した解像度で画像が乱れたり、不自然の場合は、[720P]を選択することをお勧めします。

●TVシステム

映像信号の出力方式を設定します。日本国内でお使いの場合、[NTSC]か[Multi]を設定してください。

●色空間

色の出力方法を設定できます。通常は「RGB」でお使いください。

●HDMI Deep Color

Deep Color対応の画面に出力する場合に設定を変更できます。

- 設定を変更して、画像が乱れたり、不自然の場合は、[オフ]を選択することをお勧めします。

●HDMI 1080P 24Hz

1920×1080/24P対応の画面に出力する場合に設定を有効にできます。

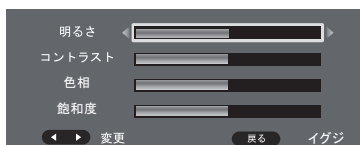
映像処理

本機液晶パネルに出力される映像を調整できます。



●映像調整

液晶パネルの明るさ、コントラスト、色相、飽和度を調整できます。



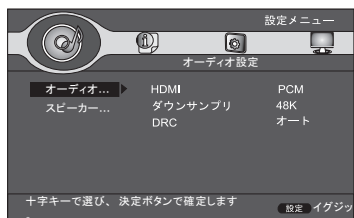
●シャープネス

液晶パネルの鮮明度を [High (高)]、[Middle (中)] または [Low (低)] に変更できます。

オーディオ設定

オーディオ出力

接続するアンプなどの設定に合わせて設定を変更できます。アンプなどの説明書をよくお読みになり、設定を合わせてください。



●HDMI

HDMIケーブルにて、ドルビーデジタルやDTSサラウンド対応のアンプと接続した場合に設定できます。

- ビットストリーム：ビットストリームを元の信号のまま出力します。
- PCM：全ての音声をリニアPCMに変換して出力します。
- Off：HDMI経由での音声は出力されません。

●ダウンサンプリング

HDMIケーブルにて、アンプと接続した場合にサンプリングレートを設定できます。

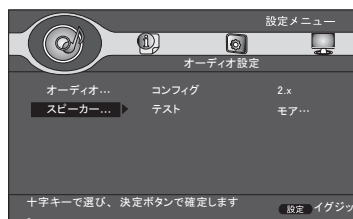
- サンプリングレートは、48K、96Kまたは192Kから選択できます。

●DRC

ドルビー音声を再生時に音声ダイナミックレンジを圧縮し、音が小さいときでも聞き取りやすくします。

スピーカーセッティング

接続するスピーカーの設定に合わせて設定を変更できます。スピーカーの説明書をよくお読みになり、設定を合わせてください。



●コンフィグ

お使いになるスピーカーシステムに合わせた設定ができます。

- お使いになるスピーカーシステムのチャンネル数などに合った設定ができます。

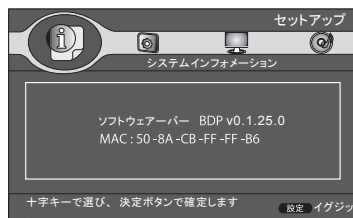
●テスト

接続しているスピーカーに合わせて、テスト用にホワイトノイズを出力することができます。

- お使いのスピーカーのサイズ・トリム・距離をそれぞれ設定してホワイトノイズを出力できます。

システムインフォメーション

ソフトウェアバージョンとMACを表示します。



10 外部機器の接続

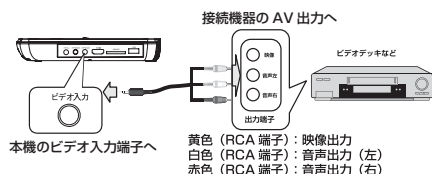


※ 本機と他の機器との接続または取り外しを行うときは、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。

モニターとして使う

他の機器と本機を接続して、本機を他の機器のモニターとして他の機器の映像等を再生できます。

1. 付属のAVケーブルを使って、本機のビデオ入力端子と接続する機器の映像・音声出力端子を接続します。



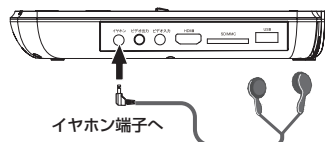
- 接続する機器の端子につきましては、接続する機器の取扱説明書をよくご覧ください。

2. 【モード切替】ボタンを押して、表示を [AV IN] にします。
3. 接続した機器で再生を行います。

イヤホンを使う

付属のイヤホンを接続してお使いいただけます。

1. 本機の音量を最小にします。
2. 付属のイヤホンをイヤホン端子に接続します。



3. 本機の再生を行います。



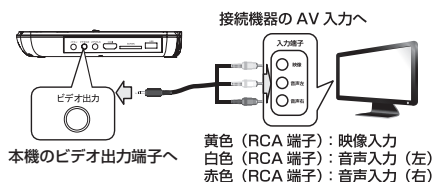
※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

テレビと接続する

付属のAVケーブルや市販HDMIケーブルを使って、テレビやモニターに接続して、本機からの映像・音声を出力できます。

AVケーブルで接続する

1. 付属のAVケーブルを使って、本機のビデオ出力端子と接続する機器の映像・音声入力端子を接続します。



- 接続する機器の端子につきましては、接続する機器の取扱説明書をよくご覧ください。

2. 本機の再生を行います。

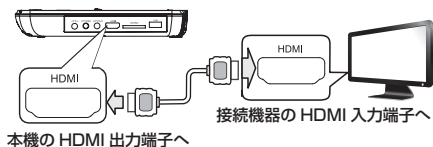


※ AVケーブルで接続した場合、BDを再生すると、デジタル規制により、映像や音声は出力しません。HDMIケーブルで接続してください。

HDMI ケーブルで接続する

HDMI ケーブルを使って、本機とテレビなどを接続すると、デジタル信号を使うため、よりきれいな映像や音声をお楽しみいただけます。

1. 市販の HDMI ケーブルを使って、本機の HDMI 出力端子と接続する機器の HDMI 入力端子を接続します。



- 接続する機器の端子につきましては、接続する機器の取扱説明書をよくご覧ください。

2. 本機の再生を行います。



※ HDMI ケーブルは付属しておりません。

11 CDリッピング機能

本機では、音楽CDのデータをパソコンやMP3プレーヤーで読み込み可能なMP3形式にリッピング(変換)して、SDカードまたはUSBメモリーに保存することができます。

1. 音楽CDをプレーヤーにセットします。
2. 保存先のメディア(SDカードまたはUSBメモリー)を本体側面のSD/MMCカードスロットまたはUSBポートに接続します。
3. リモコンの【字幕切換】ボタンを押します。
 - CDリッピング設定画面が表示されます。

CD RIP	
オプション	トラック
Speed: ノーマル	<input type="checkbox"/> Progress01 00:03:44
ビットレート: 128kbs	<input type="checkbox"/> Progress02 00:03:12
Create ID3: V1	<input type="checkbox"/> Progress03 00:04:08
Device: USB1	<input type="checkbox"/> Progress04 00:04:00
	<input type="checkbox"/> Progress05 00:02:49
	<input type="checkbox"/> Progress06 00:03:17
	<input type="checkbox"/> Progress07 00:04:42
SUMMARY	
Select Track 0	
Select Time 00:00:00	
スタート	キャンセル
すべて選択	Select None

4. CDリッピング設定画面で、【◀ ▶ ▲ ▼】ボタンでカーソルを移動して項目を選択し、【■】ボタンを押して設定値を変更します。

- Speed: 変換速度をノーマルまたはファスト(高速)に設定します。
- ビットレート: ビットレートを以下の値から設定できます。
 - 64kbps、96kbps、128kbps、192kbps、256kbps、320kbps、LossLessビットレートの値が大きいと音質はよくなりますが、データの容量が大きくなります。
- Create ID3: ID3タグを作成します。
- Device: 保存先のデバイスをUSB(USBメモリー)またはSD(SDカード)に設定します。本機に何も接続されていないとNo deviceが表示されます。

5. 【▶】ボタンでトラック選択に移動し、【▲ ▼】ボタンでリッピング(変換)したいトラックを選び、【決定】ボタンを押します。

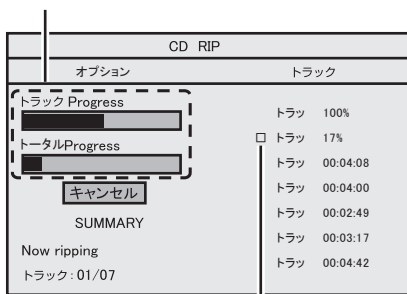
- すべて選択: 全てのトラックを選択します。
- Select None: 選択したトラックを解除します。

6. リッピング(変換)を開始するには、【◀ ▶ ▲ ▼】ボタンで【スタート】を選択し、【決定】ボタンを押します。

※保存先のメディアが接続されていないと、【スタート】を選択することはできません。

- CDリッピング画面が表示され録音が始まります。

リッピングの進行状況を表示します。



リッピング中のトラックです。

- CDリッピングを途中で終了するには、【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - CDリッピングが終了すると、CDリッピング設定画面に戻ります。
7. リッピング(変換)を終了するには、【◀ ▶ ▲ ▼】ボタンで【キャンセル】を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - CDの再生画面に戻ります。



※ SDカード読み込み時に不具合が発生した場合は、一度電源を切り、再度電源を入れてお試ください。

- ※ リッピング(変換)されたトラックは、保存先メディア(SDカードまたはUSBメモリー)の「ALBUM」フォルダに保存されます。
- ※ 「ALBUM」フォルダは自動で作成されます。
- ※ 保存されるデータは、「TRACK01」・「TRACK02」・「TRACK03」・・・のファイルとして保存されます。

12 ご注意

- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社太知ホールディングスが著作権を保有します。
- 株式会社太知ホールディングスの著作物の一部または全部を無断で複製、転写、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりません。予めご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期してありますが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
 - ②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
 - ③本製品のために費やした時間、経費
 - ④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
 - ⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の損害
- また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾無しに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを権利者の承諾無しに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その他の確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

13 主な仕様

製品名	9インチポータブルブルーレイプレーヤー
型番	TMB-L90
パネルサイズ	9インチワイド
液晶解像度	800×480ピクセル
電源定格	AC100V 50/60Hz DC12V 2.0A (付属のACアダプターを使用してください。)
ACアダプター	AC100V 50/60Hz ※国内専用製品です。海外での使用はできません。
カーアダプター	DC12V 2.0A ※24V車不可
許容動作温度	5℃～35℃
映像信号方式	NTSC/PAL/自動
バッテリー	7.4V 4000mAhリチウムイオン
消費電力	17W (最大)
外形寸法	約240 (W) × 42 (H) × 190 (D) mm (折りたたみ状態)
本体質量	約1.06kg
接続端子	USBポート×1、メディアスロット×1、3.5mmフォンジャック×1、AV出力端子×1、HDMI出力端子×1、LANポート×1、電源入力端子×1、AV入力端子×1 ※1
スピーカー	2CHステレオ (1.5W × 2)
対応BDプロファイル	1.1 (BONUSVIEW)、2.0 (BD-LIVE)
連続再生時間 ※2	約3.5時間
充電時間 ※2	約4時間
対応フォーマット	DVD、CD、DVD-R/RW (VRモード/CPRM記録ディスクを含む)、CD-R/RW、JPEG、PNG、GIF、AVI (最大解像：720×480)
対応ディスクフォーマット	BD、BD-R、BD-RE、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-Video、VCD、CD、CD-R/RW
対応ビデオフォーマット	H.264、VC1、MPEG1、MPEG-2、MPEG4
対応オーディオフォーマット	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD

※1 音声入力は、本機の音量調整非対応です。

※2 連続再生時間および充電時間は、使用状況、使用環境により異なります。また、充電電池の経年劣化により、再生時間が短くなります。

※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

14 故障かなと思ったら

症状	原因	処置
画面が白黒になる	TVシステムは合っていますか？	設定ボタンを押して、「映像設定」の「TVシステム」が「NTSC」か「MULTI」(自動)に合わせてください。
画面が暗い	映像調整は正しく設定されていますか？	設定ボタンを押して、「映像設定」の「映像処理」での映像調節で明るさを設定してください。
電源が入らない	ACアダプターまたはシガー電源アダプターは正しく接続されていますか？	ACアダプターまたはシガー電源アダプターの接続を確認してください。
再生できない/ 画面に表示されない	ディスクは入っていますか？	ディスクを入れてください。
	各機器は正しく接続されていますか？	各機器を正しく接続してください。
	ディスクに汚れ、傷はありませんか？	傷の無いディスクをお使いください。ディスクが汚れているときは清掃してください。
	接続しているテレビの入力モードは正しいですか？	接続しているテレビの入力モードを正しく設定してください。
	パソコンやレコーダーで記録したディスクですか？	パソコンやレコーダーで記録した記録型ディスクは再生できない場合があります。
	結露をしていませんか？	本機を常温に置いて1時間待ってから、お使いください。
	本機が熱くなっていませんか？	本機が熱を持っている場合は、約30分程度時間を置いてからご使用ください。
画像が乱れる	ディスクに汚れ、傷はありませんか？	傷の無いディスクをお使いください。ディスクが汚れているときは清掃してください。
	本機がビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていませんか？	ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されているとコピーガードが働き画像が乱れます。
雑音が出たり、音声が乱れる	各機器は正しく接続されていますか？	各機器を正しく接続してください。
	近くに強い磁気を帯びたものはありますか？	磁気を帯びたものを本機から離してください。
画面に「不明なディスク」と表示される	ディスクは本機に対応していますか？	本機に対応しているディスクか確認してください。
	パソコンやレコーダーで記録したディスクですか？	パソコンやレコーダーで記録した記録型ディスクは再生できない場合があります。
	ディスクに汚れ、傷はありませんか？	傷の無いディスクをお使いください。ディスクが汚れているときは清掃してください。
音が出ない	本機や接続しているテレビの音量が最小または消音になっていませんか？	本機または接続しているテレビの音量を正しく調節してください。
	各機器は正しく接続されていますか？	各機器を正しく接続してください。
	通常以外の再生をしていますか？	一時停止、早戻し/早送り、スロー再生時は音声が出力されません。
リモコンが機能しない	リモコンに電池は入っていますか？ また電池の向きは正しいですか？	電池を確認してください。
	電池は消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
	本機とリモコンの間に障害物はありませんか？	本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
	本機に強い光が当たっていませんか？	強い光が当たらない場所に移動してください。

ディスクが再生しない・読み込まない場合

ディスクやSDカード/USBメモリーを再生しない、または読み込まない場合は、下記の項目をご確認ください。

データを読み込むまでに時間がかかる

DVD-R/Wディスク*は、市販のディスクよりもレーザーの反射率が低い場合があります。反射率が低い場合、ディスクのデータを読み込むのに時間がかかります。さらにデータが読み込まない場合は、LCDパネルに「ディスクがありません」と表示され、ディスクの読み込みは止まり、回転も停止します。

※ディスクはファイナライズしてから再生してください。

仕様に合っていないディスクを再生している

ディスクは本機で再生可能なメディアですか。本機で再生可能なディスクをお使いください。

⇒「再生可能なディスク」(6 ページ)をご覧ください。

データを読み込まない

ディスクのフォーマットが本機で再生可能な仕様に合っている場合でも、データの作成方法やディスクとの相性によりデータを読み込まず再生できない場合があります。

SDカード/USBメモリーの映像が再生されない

SDカードまたはUSBメモリーを使って再生可能なファイル形式は、下記のとおりです。

映像：JPEG、PNG、GIF

音声：MP3、WMA、AVI

ディスクが汚れている

ディスクをクリーニングしてください。

⇒「ディスクの取り扱いについて」(5 ページ)をご覧ください。

ディスクのラベル面が下向きになっている

ディスクのラベル面を上向きにして、入れ直してください。

本機の内部が結露している

本機を常温に置いて1時間待ってから、お使いください。

⇒「結露（露付き）について」(9 ページ)をご覧ください。